

捨てないで 地域と家の歴史

—鳥取県中部地震 被災地区の皆様へ— 古文書などの保存についてのお願い

鳥取地域史研究会・山陰史料ネット
2016年10月25日

2016年10月21日に発生した鳥取県中部の地震で被災された皆様には、謹んで御見舞い申し上げます。

今回のような大災害では、大切な家屋や財産とともに、昔から伝わる古い書類や手紙、書画、骨董品などの資料も痛んでしまうことが多くあります。

また、蔵や倉庫などを片付けているなかで、これまで気付かなかった古い物が見つかることもあります。

もし今後、

◇ご先祖から伝わった古い書類や道具が、今回の地震や雨等で痛んだり、こわれてしまった。

※雨などでぬれてしまったものでも、修理できる可能性があります。ぜひご相談ください

◇お宅から古いもの（古文書、古美術品・古い書類など）が出てきた。

◇今後の古い書類や骨董品の保管について心配がある。

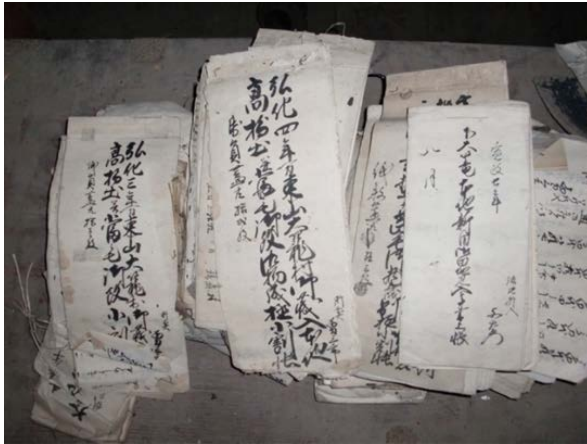
などの場合には地元の市町村教育委員会 又は 下記までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

(連絡先) 鳥取地域史研究会 事務局
〒680-0011 鳥取市東町2丁目124 鳥取県立博物館内
電話0857-26-8044 FAX0857-26-8041
E-mail hakubutsukan@pref.tottori.jp

「地域の文化財・歴史資料」とは

①古文書・和本

江戸時代までに記された、和紙に墨で書かれた文書です。冊子のもの、一枚の紙に書かれたもの、巻物など、様々な形があります。古い住宅では、これらが壁やふすまの下張り（下材）に再利用されていることもあります。



旧家の土蔵に眠る古文書（2009年）

これらは、江戸時代から明治時代初めまで約300年間の地域の歴史を知るためのものとも基本的な記録です。

②掛け軸・額

江戸時代および明治・大正・昭和など様々な時代のものがあります。絵画や、漢籍から引用した文章（故事成句など）が記されています。地域の文化的なレベルを知る上で重要です。

③手紙・はがき・日記・アルバム・賞状

明治時代以降、50年前以前の、地域の人々が残した記録です。これらは、地域の人びとの記憶とも重なり合うような「昔の暮らし」を知るための手がかりとなります。

④民具

古い漆器や茶碗、機械化される以前に農業や漁業、林業の現場で用いられていた道具類です。これらも、「昔の暮らし」を知るとともに、地域ごとに少しずつ形や用途が異なっており、その土地の歴史を知るために重要なものです。

*** 「古いもの」で判断に迷ったものは、廃棄せず、保管しておくようにしてください。追って文化財関係者が回収にうかがった際、改めて判断いたします。**